

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (課長補佐兼県道係長 吉村 文章)	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約3.4億円
		道路改築事業 (主)日高竹野線	豊岡市日高町藤井 ~ 奈佐路	内用地補償 費	約1.6億円
所 在 地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
豊岡市日高町藤井 ~ 奈佐路		平成 18 年度	平成 18 年度	平成 21 年度	
事業目的		事業内容等			
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、豊岡市日高町から豊岡市竹野町に至る北但地域の幹線道路である。加えて国道312号からの接続により、但馬空港、豊岡市中心部、国道178号へアクセスし、観光・産業を支える重要な路線でもある。 台風23号被害により機能麻痺した国道312号の代替ルートであるにもかかわらず、当該区間は幅員が狭小で大型車の離合にも困難が生じている。 通学路でありながら歩道もないことから、交通安全上危険な状態にある。 このため、人家連坦部を迂回するバイパス整備を行い、安全で円滑な交通を確保し、併せて県道豊岡日高線との交差点整備を行い、防災拠点である但馬空港及び豊岡市街地との連携強化を図る。 		道路改良(バイパス) L=553m (うち橋梁部 L=16m〔仮称:奈佐路橋〕) 【計画幅員】 W=6.0(10.25)m; 2車線+片側歩道 【現況幅員】 W=5.0m ; 未改良 【計画交通量】 3,400台/日 【現況交通量(H11セカス)】 4,803台/日 【負担割合】 県:10/10 (合併支援県道整備事業)			
評価視点					
(1)必要性 安全・安心を確保	<ul style="list-style-type: none"> 幅員が狭小で車両の離合が困難である未改良区間を解消し、歩道を設置することにより交通安全性が確保される。また、<small>まるやまがわはんらんか</small> 円山川氾濫時における北但地域の南北幹線道路である国道312号の代替路としての機能が向上する。 				
くらしと交流を支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 北但地域における南北幹線道路としての機能向上を図り、物流や地域間交流の円滑化により生活基盤の強化と但馬の観光・産業の発展を支える。 				
県土の活用を進める道づくり	<ul style="list-style-type: none"> 北近畿豊岡自動車道(仮)日高北ICへのアクセス、防災拠点であり交通結節点でもある但馬空港へのアクセスが向上するため、広域的な交流・連携を支えると伴に、県土活用基盤として魅力ある地域・都市を形成する。 				
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 市町合併による支所間連絡、中心市街地アクセス、防災拠点アクセス等を向上させ、新市の都市機能を強化すると伴に、新市のあらたなまちづくりと個性ある発展を支援するため、未改良区間の道路整備が強く求められている。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B/C=1.2 				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅ルートは、現道沿いに人家が多く、用地補償費が高価になるため、本ルートは人家等をバイパスで避けた最も経済的なルートである。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 合併後の中心市街地、防災拠点等へのアクセス向上による生活基盤、都市機能強化とともに交通安全性向上による生活環境の改善という面から、地元住民をはじめ周辺住民においても当事業に対する理解と合意形成は出来ており、協力体制は十分整っている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 構造物は最小限にし、土羽盛土により環境への影響を最小限に留めるとともに、盛土材は他事業等の発生土を利用し資源循環に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は日高町から但馬空港、豊岡市街、国道178号へのアクセスルートにあり、地域の経済・産業活動を支える。さらに、河川氾濫の影響を受けない防災拠点へのアクセス道路の整備が急務であるため、平成18年度より事業着手する。 合併支援道路として旧日高町~中心市街地の連絡機能を強化し、新市の生活基盤を強化する。 				